

# 一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第20号

2015年6月29日発行

編集・発行 総務委員会

## 学生柔道連盟がめざす道 ～「文武一道」～

待望の東京オリンピックまで余すところ5年となり、スポーツ全般に対して国民の関心が高まってきています。特にメダル獲得の期待が大きい柔道には、大変熱い期待が寄せられています。現在、学生柔道で活躍している学生諸君の中からも、栄えある日本代表として、その重責を担い、大いに活躍するであろうことが想像に難たくありません。言うまでもなく、スポーツは勝敗を競うものであり、だからこそ勝利を目指して鍛錬努力することが求められています。特に学生柔道においては、学業の成果をあげながら勝利に立ち向かわなくてはなりません。この厳しい環境を、努力によって克服していくことが青年期の人間形成に益するのです。本年度から連盟が主催する全国大会には各々の大学での単位取得状況により出場制限がかけられます。「文武一道」の精神を、学生諸君は常に念頭に学業、そして柔道に励むことを期待しています。柔道で鍛えた心身を以って、社会において大いに活躍できる前途有望な学生を輩出していくことこそが、教育機関である学生柔道連盟の使命でもあります。

また、私たちは、柔道界の不祥事から得た教訓を決して風化させることなく社会からの信頼を回復するために、中長期的な視野で真摯に論じ、率先垂範の改革精神で行動し、明日を担わなければならないと考えています。

本年度は、佐藤宣践会長5期目の集大成の年度になります。これまでと同様に、佐藤会長の強いリーダーシップのもと、執行部一丸となり全国加盟校のみなさんとともに直面する課題解決や将来展望に立った取り組みを行っていきます。なお、総務・教育・財務・競技の各委員会(下記参照:組織図)では、諸事業推進のため、活発な議論とともに実践的な提案と行動が展開され、その実をあげるべく活動をしています。

## 自立した財政基盤の確立

安定財政基盤をつくりあげることを目的として、佐藤会長が提唱し導入されたオフィシャルサプライヤー制度や、拡充されたサ

ポーター(賛助会員)制度により連盟の財政運営は安定をしています。さらに「入をはかり、出を制す」との運営指針により、諸事業はもとより運営にかかわる事務的な費用も含め毎年厳しく検証と改善を行っています。なにより各地区、会員との情報共有、連携をはかり、自立的、かつ中長期的視野に立った基盤づくりをしてゆきます。

## 法人としての役割の遂行

昨年度は、例年通り主催3大会をはじめ、教養講座・海外研修・審判講習会(6回)・学生柔道に関する助成・学生柔道の功労者に対して顕彰などを実施しました。

本年度においても、例年通りの事業を実施いたします。大会事業としては、まもなく日本武道館において開催される全日本学生柔道優勝大会をはじめ、3大会を開催します。また、国際社会で活躍出来るグローバルな人材を育成することを目的として実施されている海外研修事業も、すでに準備を進めて一層充実した内容を予定しています。

尚、教養講座事業に関しましては、一昨年来の柔道界の厳しい環境を踏まえ、学生柔道連盟として広く発信していける内容で計画をしています。併せて時代ニーズを捉えた諸制度の充実・設置に努めてゆきます。

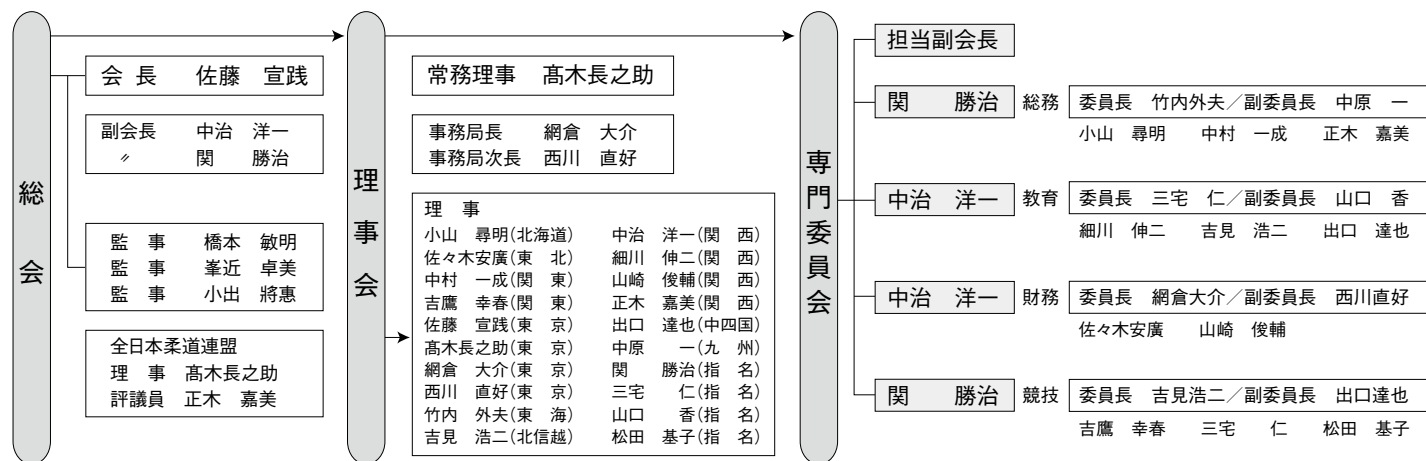
## 運営方針の継続

本年度も、これまでの運営方針を継続します。

- ・オープンな連盟運営  
様々なツールを用い、地区学連との連絡調整や、会員との双方向での情報交換の充実を図ります。
- ・持続可能な連盟運営  
聖域なく、事業別の仕分けを定期的を実施し、ムリ・ムダを省いたスリムな連盟運営を行います。

常務理事 高木長之助

一般社団法人全日本学生柔道連盟組織図(2015)



正会員数(地区学生柔道連盟別・2015年6月26日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海	北信越	関西	中国四国	九州	合計
18	21	40	47	29	21	55	32	30	293

## 【北海道】

北海道内の大学の柔道人口は、ここ数年来減少傾向をたどっています。かつて400名を上回る登録人数を維持していたこともありましたが、近年は加盟大学の退会が相次ぎ、登録人数も300名を下回る状況が続いています。このような中、本年3月に開催されました全日本柔道選手権大会予選でもある平成27年全北海道柔道選手権大会において道都大学の瀧田真太郎選手が社会人の強豪を押しつけ見事優勝を成し遂げました。同大会の長い歴史の中で現役学生が優勝を勝ち取ったことは初めてのことであり、北海道の大学柔道史に残る快挙となりました。

さて本連盟における新たな取り組み等をご報告いたします。第一に優秀選手表彰規程を制定しました。これは北海道柔道連盟加盟大学の選手の優秀な成績とその努力を表彰するもので、過去1年における全日本学生柔道連盟主催大会等で優秀な成績を納めた選手や大学に対して荣誉をたたえ表彰するものです。初回は4名の該当者がおり、5月に開催された北海道学生柔道優勝大会の開会式において表彰が行われました。

次にこれまで正式な規程としては運用されてこなかった「倫理規程」は、種々の反省の上に立ち、半年ほどの検討期間を設け協議を行ってきました。このほど「北海道学生柔道連盟倫理規程」として施行する運びになりました。

本年度も学生の審判ライセンス取得に向けた取り組みを支援していきます。公認指導者資格取得にも積極的な動きが生まれており、今後が期待されます。

本連盟の事務局体制の充実にむけては、幾度か協議を行ってきましたが、今年度からは業務内容を分担していっそうの効率化を図っていくこととなりました。今期は役員の改選期で新しい人材に加わってもらい、引き続き岩崎満会長のもとで連盟運営の活性化に向け取り組んでいくことが確認されています。

新役員体制は、以下のとおりです。

- 会 長 岩崎 満
- 副 会 長 丸山淳士 工藤正義
- 理 事 長 小山尋明
- 副 理 事 長 岩井 眞 安達昭弘
- 常 任 理 事 金澤美樹彦 河合一丸 阿部眞久  
松浦英幸 森 洋一 (新)  
今井克俊 (新)  
十倉 宏 (事務局長)
- 監 事 坂井俊文 (新)

北海道学生柔道連盟 事務局長 十倉 宏

## 【東北】

東日本大震災から4年が経過し、少しずつ復興に向かっていている。しかし未だに震災の爪痕が深く残っている地域もあり、特に沿岸部では復興が遅れている現状がある。そういった状況の中で大学や地域、家族からの理解や協力を得ながら、柔道に打ち込める事は大変幸せな事であると感じている。今後も、柔道ができる事に感謝し稽古に精進していきたい。

### 1. 東北学連役員の改選（事務局の変更）

さて、東北学生柔道連盟は、今年度（平成27年度）の役員改選はないが、事務局が仙台大学から東北学院大学へと移ることとなった。東北学院大学は仙台大学が事務局をする前に担当をしていたが、今回の変更は単に大学間の交代ではなく、宮城県内の大学が協力し合って事務局を担当する発展的交代とすることとした。県内大学全体で協力し合うことで各大学の活性化を図ることも一つの目的である。それに加え、秋の体重別大会の開催地である秋田県内の大学にも大会運営について、これまで以上に協力をいただくことにもなっている。

### 2. 学業単位取得制限について

今年度1年生より、修得単位数による大会出場制限が始まるが、東北学生柔道連盟では2012年の東北学生優勝大会より実施し、今年で4年目を迎える。これにより出場できなかった選手については特に調査していないので不明だが、手続き上は特に問題なく進んでいる。東北学連の独自ルールは今年度の優勝大会で最後となるが、この制度の発信連盟として、今後も全日本学連へ惜しみない協力をしていきたい。

### 3. 今年度の大会予定

- ①東北学生柔道優勝大会  
5月24日（日）宮城県武道館
- ②東北学生柔道体重別選手権大会  
8月29日（土）秋田県立武道館
- ③東北学生柔道体重別団体優勝大会  
8月31日（日）秋田県立武道館

東北学生柔道連盟 事務局長 阿部 文智

## 【関東】

### 平成27年度に向けて

本年2月に行われた平成26年度関東学生柔道連盟総会において、昨年度に引き続き、以下の体制で組織運営が行われた。

会長：小俣幸嗣（筑波大学）、副会長：柏崎克彦（国際武道大学）、木村仁（神奈川大学）、野瀬清喜（埼玉大学）、西田孝宏（山梨学院大学）理事長：吉鷹幸春（桐蔭横浜大学）、副理事長：中村一成（防衛大学校）、越野忠則（国際武道大学）、理事：木村昌彦（横浜国立大学）、岩崎卓（流通経済大学）、岡田弘隆（筑波大学）、矢崎利加（国際武道大学）、廣川充志（桐蔭横浜大学）、山部伸敏（山梨学院大）、三宅仁（平成国際大学）、小山勝弘（山梨大学）、増地千代里（筑波大学）、高橋進（関東学園大学）、山田利彦（了徳寺大学）、監事：小川正行（群馬大学）、石井兼輔（国際武道大学）、事務局長：増地克之（筑波大学）、事務局次長：宮本健治（清和大学）、竹澤裕稔（関東学園大学）。本連盟の更なる発展のためにご尽力いただきたい。

さて、平成27年度の本連盟の主な事業計画は、5月24日関東学生柔道優勝大会（男子62回 女子21回）、8月29、30日関東学生柔道体重別選手権大会（男子54回 女子28回）の競技会の開催、年1回の審判講習会の開催及び海外研修の実施である。

昨年度は本連盟独自の海外研修の一環として、香港国際大会へ関東学生柔道連盟から15名の選手を派遣し、金メダル5個・銀メダル4個・銅メダル2個を獲得することができた。この好成績をステップとして参加選手には更なる飛躍を期待する。

また、今年8月にカザフスタン・アスタナで開催される世界柔道選手権大会に本連盟に所属する81kg級の永瀬貴規選手（筑波大学4年生）が日本代表として選出された。昨年に引き続き2度目の世界挑戦となるが、良い成績を取られることを期待したい

関東学生柔道連盟 事務局長 増地 克之

## 【東京】

### 2015年度のスタートにあたり

2020年度に開催されるオリンピック・パラリンピックに向けた気運が日増しに高まる中、本年度は、今一度、学生柔道の振興と発展という連盟の目的を踏まえ、正しい学生柔道の普及に一層努めていく所存です。

運営面においては、高木会長が就任時より掲げる、『身の丈にあった健全な運営』方針から、本年におきましても「運営ガイドライン」を策定し、その実をあげるために、着実な運営を行ってまいります。財務面では、「自主財源を基本とした運営」を推進していくために、固定費の節減策として事業仕分けを行い、併せてIT化の推進を図り、実をあげております。これまで、事務の効率化を図るためにメールによる事務連絡の徹底、大会申し込みのデータ化の完全実施等多くのことに取り組みました。財源確保のために佐藤前会長が提唱された「Come Back 柔道」の一環として「連盟サポーター制度（賛助会員制度）」も、多くの賛同を得て定着しました。試合会場サポーター専用シートの設置やティールーム設置は、大変好評いただいております。今後も学生柔道のOBの皆様が多く集うことのできる場所や機会の提供を進化させていきたいと考えております。

また、学生柔道の普及事業として、昨年度で8回を数える「柔道出前講座」は、講師として了徳寺学園職員の今井優子先生にご指導いただき、100名近くの参加者を迎え、盛況のうちに終了しました。教育事業として、学生が社会貢献・奉仕の心を養うために、本年も全日本視覚障害者柔道大会の運営協力を行い、国際感覚を養うために海外研修も実施いたしました。広く学生柔道を知っていただくために、主要事業であります各大会の様態を配信する、大会WEB配信を実施し好評を得ています。

柔道界固有の問題である皮膚真菌症（トルコフィトン・トンズランス）対策にも積極的に対処しております。具体的には、当連盟加盟の内一部校全員を対象とした皮膚真菌症検査を実施し、研修会を設けて、治療を徹底するというものです。

また、加盟校全学生を対象としたアンケート調査を適宜実施し、今後の事業計画の基礎資料にしていく考えです。

本年度も学生役員を中心にした運営を心がけ、加盟校の意見を出来得る限り反映させることにより、オープンな連盟運営を行っていきたいと考えていますので各地区連盟並びに関係各位のご協力をお願いいたします。

東京学生柔道連盟 理事長 網倉 大介

## 学生委員より

私達、学生委員は4年生1名、3年生2名、2年生4名の計7名で平成27年度のスタートを切りました。それぞれ所属する大学は異なりますが、個性豊かで賑やかな面々です。全員が自分の仕事に責任を持ち、日々活動を行っております。

当連盟では年間2つの全国大会、4つの東京大会の運営と学生柔道の普及・発展のための諸事業を主な活動としており、学生委員としての仕事は、他では経験できない事ばかりです。色々な縁が重なって東京学生柔道連盟に携わる事ができ、また多くの方に支えられ活動ができているという事への感謝の気持ちを忘れずに大会運営のシステム向上に微力ながら貢献していきたいです。

また嘉納治五郎師範の教えにあります「精力善用」「自他共栄」の精神に則り、学生柔道連盟学生委員としての多くの経験を社会に出た際に活かしていく事を最大の目標とし、日々練習に打ち込んでいる選手と同じ気持ちで事業に取り組んでいきたいと考えています。

2020年のオリンピックに向け、柔道競技はもちろん、スポーツ界全体が盛り上がると思います。仲間である学生が選手としてオリンピックの舞台に立ち、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮できる環境づくりができるよう、また学生柔道から柔道界を盛り上げていくことのできるよう学生委員一丸となって精一杯努力いたします。

各地区学生柔道連盟並びに関係者の皆様には今後一層のご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

東京学生柔道連盟 学生委員長 大石貴之

## 【東海】

平成27年度における本連盟の活動の皮切りとして、4月4日に中京大学名古屋キャンパスにおいて総会を開催し、平成26年度の行事及び決算報告、ならびに平成27年度の行事予定、予算及び役員等が承認されました。

また、今回の総会において、全日本学生柔道体重別選手権大会及び全日本学生女子柔道体重別選手権大会の予選を兼ねる東海学生柔道体重別選手権大会及び東海学生女子柔道体重別選手権大会の出場者数が減少化の傾向にあることを鑑み、大会レベルの向上を目指すこととあわせて出場選手枠の幅が提言され、理事会において引き続き審議されることとなりました。

平成26年度の本連盟主催の大会を振り返りますと、5月18日の全日本学生柔道優勝大会への予選である東海学生柔道夏季優勝大会（以下「男子夏季大会」）において、皇學館大学が、準決勝で前年度優勝の名城大学に勝った愛知学院大学を決勝で下し、初優勝を果たしました。61回を数えるこの大会において初の愛知県以外の大学の優勝となりました。同日開催の東海学生女子柔道優勝大会（以下「女子柔道大会」）においては、3人制を中京大学、5人制を朝日大学が制し、優勝しました。

また、皇學館大学は9月6日の全日本学生柔道体重別団体優勝大会東海予選会において、名城大学に勝ち、初の本大会への出場を果たしました。東海地区における本大会への出場は、男子が愛知大学、皇學館大学及び愛知学院大学、女子は朝日大学でした。

しかし、11月16日に開催された体重無差別の7人制の勝ち抜き試合である東海学生柔道冬季優勝大会（以下「男子冬季大会」）においては、名城大学が決勝で皇學館大学に勝ち、23年連続の優勝を果たしました。この大会から1週間後の11月22日に体重別の5人制の勝ち抜き試合で行われた東海学生女子柔道冬季優勝大会（以下「女子冬季大会」）においては、朝日大学が決勝で前年度優勝の同朋大学を下し、4年ぶりの優勝を果たしました。

また、これまで男子冬季大会と女子冬季大会は別々の日に開催していましたが、平成27年度より同日開催で行うこととなりました。

加盟大学の半数近くがスポーツ推薦入学を実施し、それ以外の大学においても競技技術は以前より向上したことが観えます。

このことは進学者の中に柔道経験者が増えていると推測できます。今後、加盟校や大会出場者数の減少、ケアシステムの本格的な導入、その他多くの課題への対応が必要とされております。

## 1. 役員紹介

会 長	長谷川 優
副 会 長	金子 修巳
	関 厳 (名城大学教授)
理 事 長	竹内 外夫 (中京大学教授)
副 理 事 長	福井 博泰 (名城大学職員)
	久野 高裕 (愛知大学職員)
学生委員長	清水 幹 (名城大学)
学生副委員長	山田 雅也 (愛知大学)

## 2. 行事予定

5月17日(日)

第62回 東海学生柔道夏季優勝大会

第22回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

8月30日(日)

第34回 東海学生柔道体重別選手権大会

第32回 東海学生女子柔道体重別選手権大会

9月5日(土)

全日本学生柔道体重別団体優勝大会

(男子17回・女子7回) 東海選考会

11月15日(日)

第63回 東海学生柔道冬季優勝大会

第8回 東海学生女子柔道冬季優勝大会

## 【北信越】

北信越学生柔道連盟は、現在21校の加盟校で構成されています。近年、多くの大学で部員確保が困難な状況で、大会参加はもとより単独チームでの日常練習にも支障を来すところもあるようになってきています。実際に日常的に活動している大学のクラブはもっと少なく、今後の北信越地区の学連運営は非常に厳しいと言わざるを得ません。

当連盟では柔道の強化だけではなく普及、柔道を通じた教育を今まで以上に徹底できるように、『北信越学生柔道連盟加盟校の心得』を作成し、1. 尊敬の心・2. 感謝の心・3. 謙虚な心・4. 勤勉な心・5. 補益の心という項目を立ててそれぞれの内容について詳細に定めたものに署名し、学生だけでなく指導者も『人間形成の道』として柔道に取り組んでいく方針で取り組んでいます。

昨年行われた第11回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会は、日本全国から出場のオファーを頂くようになりました。大会の規模も回を追うごとに大きくなり、昨年度は初めて女子の7階級、7人制の試合も開催しました。非常に好評で、今年度も女子に関しては個人戦及び団体戦を開催することになりました。多くの学生の皆さんの参加をお待ちしています。

※強化合同練習会参加などの問い合わせ先につきましては下記の担当者を通してお申し込み下さい。

男子担当：渡辺直勇 金沢学院大学 076-229-8843

鈴木貴士 金沢工業大学 076-248-9926

女子担当：吉見浩二 高岡法科大学 0766-63-3388

渡辺涼子 金沢学院大学 076-229-8867

## 【事業予定】

5月16日 北信越学生柔道連盟役員総会

5月17日 北信越学生柔道優勝大会(男子63回女子23回)

8月2～5日 北信越学生柔道連盟夏季合同練習会(女子)

8月10～14日 “ (男子)

8月29日 北國杯國杯北信越学生柔道体重別選手権大会  
(男子34回 女子27回)

8月30日 第17回北信越学生柔道体重別団体優勝大会

11月21～23日

第12回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会

2月27日 北信越学生柔道連盟常任理事会

2月29～3月2日 北信越学生春季強化合同合宿(男子)

3月28～30日 “ (女子)

※ 詳細連絡先

金沢学院大学内 北信越学生柔道連盟事務局

TEL：076-229-8930

mail：naotake@kanazawa-gu.ac.jp

## 【 関 西 】

### 1. 平成 27 年度関西学生柔道連盟行事予定

5 月 17 日 (日)

第 65 回 関西学生柔道優勝大会

第 23 回 関西学生女子柔道優勝大会

(ベイコム総合体育館 [ 尼崎市記念公園 ])

8 月 30 日 (日)

第 34 回 関西学生柔道体重別選手権大会

第 27 回 関西学生女子柔道体重別選手権大会

(天理大学袖之内第一体育館)

10 月 24 日 (土)・25 日 (日)

全日本学生柔道体重別団体優勝大会

(男子 17 回 女子 7 回)

(ベイコム総合体育館 [ 尼崎市記念公園 ])

### 2. 本年度の抱負

昨年度、本連盟は創立 65 周年を迎え、その記念行事として今年 3 月に、スイス・フランスへの海外遠征を行いました。昨年度の関西学生柔道体重別選手権大会各階級男子上位 2 名、女子 1 名を代表選手とした本遠征では、スイスオープン柔道大会にも参加いたしました。この大会は、ヨーロッパを中心に 14 カ国の代表選手が参加しておりましたが、日本選手は、金 7 個、銀 1 個、銅 8 個のメダルを獲得する活躍により、日本柔道に対し高い評価を受ける事が出来ました。

学生幹事も入れ替わり、今年度も、昨年に引き続き佐野会長を中心に本連盟の運営にあたり、柔道界の更なる躍進のため頑張ってもらいたいと思います。また、一人でも多くの学生が本連盟の諸活動に興味をもち、協力してもらえよう努力し、本連盟の未来を担う学生幹事を育てていきたいと考えております。

最後に、大会を運営するにあたっては、我々学生のみではなく、役員の方やその他さまざまな方々の多大な協力をいただいております事を、この場を借りて感謝申し上げます。本連盟はこれからも、円滑な大会運営等、関係諸活動に対し積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので今年度もよろしくお願い致します。

### 3. 主な役員

会 長 佐野 修弘

副 会 長 山岸 久一

近藤 徹

中治 洋一

理 事 長 細川 伸二

### 4. 加盟大学

現在、関西学生柔道連盟には 55 大学が加盟しております。

(2015 年 4 月)

## 【 中 国 四 国 】

当連盟は、昨年60周年を迎えました。今年は、出口理事長のもと70周年に向けた1年として、当連盟の更なる発展のために様々な活動を企画し実行していく所存です。引き続き、当連盟と加盟する32大学をよろしくお願ひいたします。

さて、平成27年2月7日に常任委員会を開催し、平成27年度の行事が決定されました。強化合宿も予定しておりますので、ぜひご参加いただきますようよろしくお願ひいたします。

(平成27年度 中国四国学生柔道連盟 行事予定)

4 月 11 日 (土)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会 (岡山商科大学)

5 月 16 日 (土) ~ 17 日 (日)

中国四国学生柔道連盟 理事会・総会

中国四国学生柔道優勝大会

中国四国学生女子柔道優勝大会 (岡山県立武道館)

7 月 11 日 (土)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会 (松山大学)

8 月 29 日 (土) ~ 30 日 (日)

中国四国学生柔道体重別選手権大会

中国四国学生女子柔道体重別選手権大会

中国四国学生柔道体重別団体優勝大会

(愛媛県武道館)

9 月上旬・2 月下旬

中国四国学生柔道連盟 男女強化合宿

中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津 良仁

## 【九州】

平成26年度定例総会を5月16日に開催し、議題は全てご承認いただき可決決定いたしました。

第64回九州学生柔道優勝大会・第24回九州学生女子柔道優勝大会を5月16・17日に福岡武道館において、男子19校（199名）・女子11校（55名）が参加して熱戦が繰りひろげられました。

結果は次の通りです。男子 1部優勝 鹿屋体育大（2年ぶり6回目）・2部優勝 九州国際大（2年連続2回目）。女子5人制優勝 福岡大（2年連続10回目）・3人制優勝 鹿屋体育大学（5年連続7回目）。6月に開催されます全国大会に九州からは、男子6校（鹿屋体育大・福岡大・福岡教育大・東海大九州・熊本学園大・熊本大）、女子5人制3校（福岡大・九州看護福祉大・九州共立大）、3人制4校（鹿屋体育大・別府大・福岡工業大・福岡教育大）が出場致します。

選手諸君の健闘を祈ります。

※役員及び27年度の九州地区の行事は次の通りです。

会 長	藤田 弘明
副 会 長	筑紫 仁、園田 勇
理 事 長	中原 一
副 理 事 長	安河内春彦
事 務 局 長	野田 修

5月16日（土）平成27年度定例総会

5月16日（土）第64回九州学生柔道優勝大会 2部

5月17日（日）第64回九州学生柔道優勝大会 1部  
第24回九州学生女子柔道優勝大会

8月29日（土）第29回九州学生女子柔道体重別選手権大会

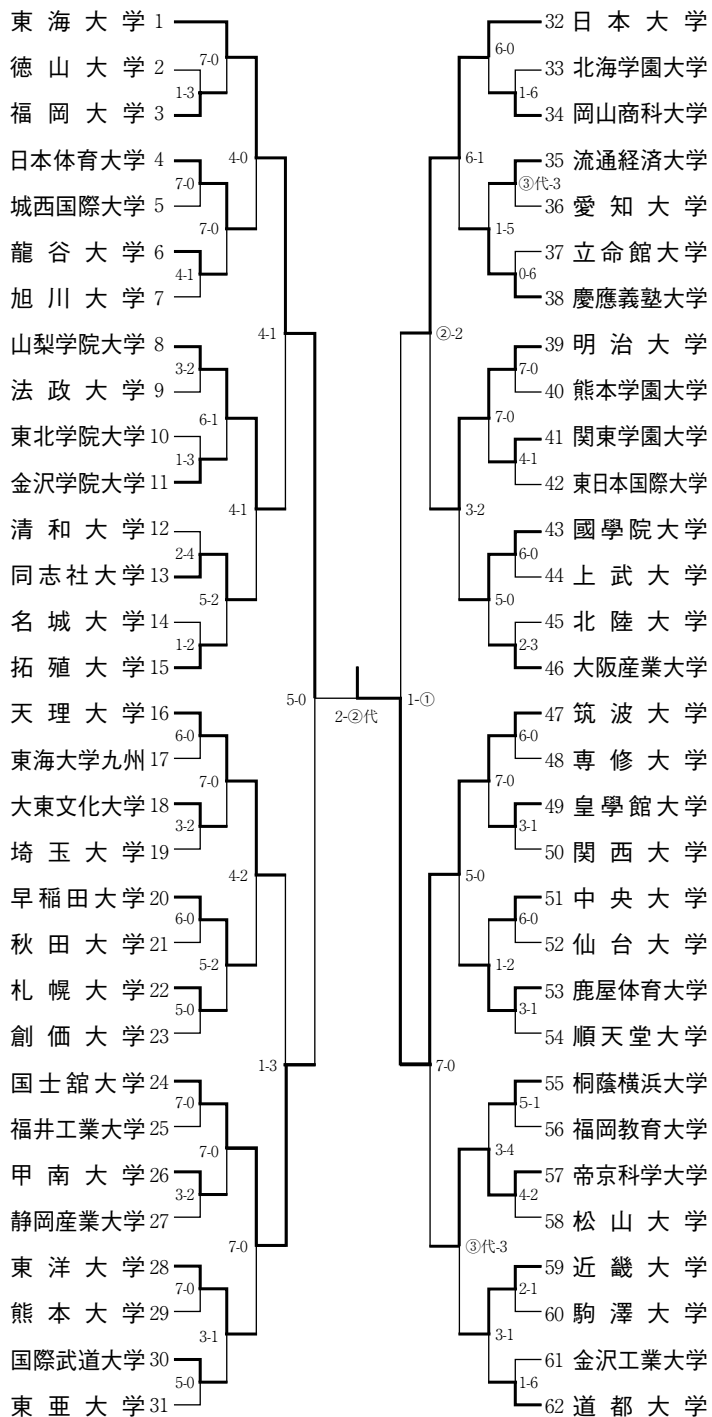
8月29日（土）第59回九州学生柔道体重別選手権大会

8月30日（日）

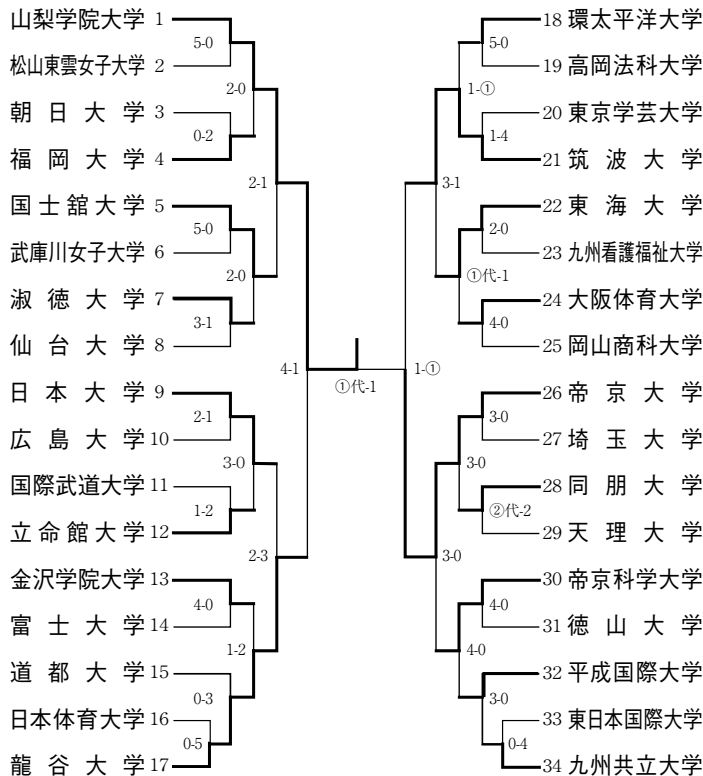
# 平成27年度全日本学生柔道優勝大会(男子64回 女子24回)

— 6月27・28日 開催 —

## 男子団体対戦表



## 女子団体5人制対戦表



## 女子団体3人制対戦表



一般社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:http://www.gakujuren.or.jp